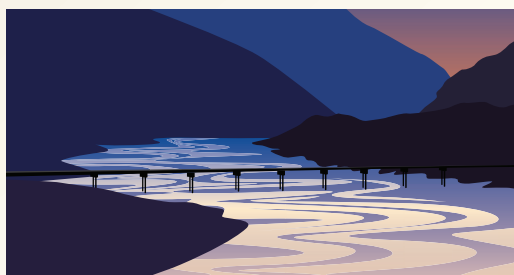


「人生の経過、生きるという事の中に光の粒子がある。ん、深い話だなあ。でも、なんだかあんまりピンと来ないよ」ウイザットが申し訳なきように言う。「経過と過程って違うんでしょか」とマジリアルがマグワートが使った言葉を捉えて質問をした。「そうじゃな、まあ、殆ど同じ様な使い方をされている言葉じゃが、厳密に言えば、経過というのは元々は天球の動きに関した言葉で、物事の進み具合の変化を指し、過程というのはその道のりを指すと云えるかな。つまり人生を川に喩えるなら、川そのものが過程、流れが経過ということになる訳じゃ。そして、人生の流れは止まらない。同じに見える流れも、ゆく川の流れば絶えずして、しかももとの水にあらず、と鴨長明が言っている様に、同じではなく絶えず人生は変化していくことじゃ」「人生は変化していくことじゃ」「そうじゃ、人生とは変化の連続じゃ。淀みに浮かぶ泡沫は、かつ消えかつ結び、久しく留まりたる例なし。世の中にある人と柄と、またかくの如し、ワシらは淀みに浮かぶ泡の如く、この世に出没し、消えてゆく存在。この世に同じ状態のままを保つものは何一つ無いことじゃ」「え？僕達は川の中のアブクなのかい？」「これは人生や人間、家屋を川の流れや泡沫に喩えて、その儚さ、無常さを紡いだ『方丈記』という随筆の第一章（ゆく川）の冒頭部分じゃ」「なんか、あんまりポジティブとは言えない

随筆ね：「マジリアルが哀しそうな顔をする。『そうじゃな。更にこの随筆で長明は火事や災害を憂い、この世の生き難さを嘆き、仏門に入つて尚、悟り切れないままの自分の苦悶しながら、最終章（みずから心に問う）で筆を置いておる。批判する意味ではないが、確かに読んでいて、お腹を抱えて笑う様な内容ではないのう」マグワートは、そこで一旦言



葉を切つて、顎鬚を摩つたが、更に続けた。「彼は18歳で35歳だった父親を亡くし、人生の儚さを若くして体感したんじや。更には父の庇護を失い、神官であった父の後目争いにも負け、継ぐことも出来ず、絶望し一度は自殺をも考えたとも言われている。そしてそこから更に引き籠もりや怠惰で自堕落な生活、紆余曲折ある中で、62歳でこの世

を去る迄、悟り切らないままシタバタと生きたらしいんじや」「え？そんな人生嫌だわ」マジリアルがもと哀しそうな顔になった。「でもさつきは生きる事の中に光の粒子があるって」「ウイザットが問う。『そうじゃ、な、どんな状況であつても、人生には光の粒子は必ずあるものじゃ。理不尽な災難、厳しい現実、無常な世の中：そういったものから目を逸らさず、足掻きながら生きる。この世に肉体を持つて生まれた目的は、悟り切る事ではない。清廉潔白に生き切れず、聖人君子に成り切れずとも、そんな自分を見詰め、愛し、好いこと悪いこと、全てを受け入れ、諦めないで生き抜くことじゃ。悟りという結果に辿り着かずとも、人生の経過、移り変わりゆく人生の流れを眺め続けることじゃ。天候により、時に川は濁流となり、時に渾水状態となることもある。しかし、平常時、晴れた日には、川面は陽の光を受けてキラキラと輝くものじゃ。人生にも晴れの日も嵐の日もあるが、どんな日もシタバタしてでも生き抜くこと、それがこの世に生まれた意味なんじやよ。大切なのは結果ではなく経過という意味じゃ。』」「大切なのは結果ではなく経過：」「そうじゃ。川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。人生は常に流れていくんじや。無常を受け入れることこそが、今を生きる、ということなんじやよ」 つづく

チャネリング相談

Q 近年、日本でも若者を中心に都市部ではかなり Halloween が盛り上がっていますが、本来、Halloween とは何でしょうか。魔女や黒猫、お化け、カボチャと何の関連があり、何故子供がお菓子を貰いに来たり、仮装したりするのでしょうか。 (San Bernardino 在住 Tさん)

A 本物の盛り上がりに関してはニュースで見ただけですが、一部非常識な振る舞いやゴミ問題もある様で心が痛みます。 Halloween は、正確には 10月31日～11月2日迄で、元々は古代ケルトが起源とされている説が有力で、彼らにとって11月1日 Samhain が新年となり、その前夜にその年の収穫を祝うという風習から来ている様です。そこにローマの Pomona というお祭り、更にキリスト教の聖人を記念する祝日の万聖節 All Hallow's がミックスされたそうです。 魔女と黒猫に関しては、アイルランドやスコットランドの伝説からきており、また、その日はこの世とあの世の間にあるゲートが開く日でもあり、死者の霊が家に戻って来ると信じられていて、日本のお盆の様に火を焚いてお迎えするそうですが、その際に悪霊も一緒に来てしまうことから、こちら側も悪霊の様な格好をして、対抗しようということから仮装が始まったらしいです。お化けに仮装した子供にお菓子をあげ、去ってもらうことで厄払いとなります。カボチャ（元々は Rutabaga というかぶに似た野菜を使用していたが、アメリカでは沢山採れるカボチャになった）には Jack O' Lantern という名前がありますが、これは、悪魔とのやり取りが因であの世に行けなくなってこの世を彷徨う酒好きで乱暴者の Jack が、暗闇を照らす為に悪魔に頼んで貰った地獄の火でランタンを作ったというアイルランドの逸話が始まりで、それがいつしか死者の魂のシンボルとなったとのこと。 何にせよ、お祭りは人に迷惑を掛けない良識を持って楽しみたいですね。

注意：魔女ともえが述べる内容はチャネリングによるひとつのサジェスションです。